



いずみ

令和8年9月1日発行

<学校教育目標>

自ら行動する子  
かわり合い、  
よりよい自分を  
目指す子

学校HP



コミュニティ  
スクール



(Tel) 3480-3881 (Fax) 5497-7358 (HP) <http://www.komae.ed.jp/ele/izumi/>

校長 鷲見 真太郎

## よい学級、楽しい学級は自分たちで作る

副校長 吉川 俊

長い夏休みが終わり、学校に子供たちの元気な声と笑顔が戻ってきました。夏休み中に様々な経験を積み、一回り成長した子供たちが、これから始まる2学期をどのようにつくり上げていくのか、とても楽しみにしています。

本校では、児童運営委員会考案の「笑顔・発見！自分たちで作る和泉小学校」というキャッチフレーズを掲げ、子供たち主体の学校づくりを進めています。「自分たちで作る」とは、子供たちが与えられたことをこなすだけでなく、自分で考え、友達と話し合い、よりよい学校生活を自ら創り出していくことです。

そこで大切になってくる学習活動の一つに、「学級活動」があります。学級活動では、学級や学校生活をよりよくするために、子供たち自身が課題を見付け、話し合い、みんなが納得できる方法を考え、実践し、振り返ります。そこでは、自分の考えを伝える力だけでなく、友達の意見を受け止め、互いを尊重しながら合意形成を図る力も育まれていきます。

例えば、「みんなが安心して過ごせる教室にするにはどうすればよいか」「係活動をもっと工夫するにはどうしたらよいか」「学級集会をみんなが楽しめるものにするにはどうすればよいか」など、子供たちの身近な課題を自分事として考え、解決に向けて取り組んでいきます。こうした経験を積み重ねることが、学校への愛情や仲間とのつながりを深め、「自分たちの学校は自分たちでよりよくしていこう」という意識につながっていきます。

本校では、今年度、第5・6学年については、チーム担任制を進めています。複数の教員が子供たちを見守ることで、多面的に子供のよさや課題を捉え、一人ひとりに応じた支援を行うことを目指しています。また、子供たちにとっても、多様な先生との関わりを通して、安心して学び、相談できる環境づくりにつながっています。

先日実施したチーム担任制についてのアンケートでは、「複数の先生に子供の成長を見てもらっている」「複数の先生から子供のよさや課題を教えていただいたことで、先生方がチームで見てくださっていることを実感して安心した」など、肯定的な声が多く寄せられました。その一方で、「学級全体の一体感をさらに高めてほしい」といった声もあり、課題も見えてきました。

こうした結果を踏まえ、学校として改めて大切にしたいのは、「よい学級、楽しい学級は自分たちで作る」という意識です。学級活動を充実させながら、一人ひとりが主体的に考え、仲間と協力し、よりよい学級を目指して行動する力を育てていきたいと考えています。

2学期は、学習面でも生活面でも大きく伸びる時期です。健康と安全に配慮し、笑顔で楽しく過ごせる学校づくりに努めます。学年教員が連携して、子供一人ひとりに寄り添ったきめ細かな指導と支援を行い、主体的に学級をよりよくする力を育てていきます。ご家庭や地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

### 9月の安全指導

#### 災害時における行動

○第一に自分の身の安全を確保すること。

災害はいつどこで起こるか分かりません。

また、家族が一緒にいるとは限らないので災害時の行動をご家庭でも話し合いましょう。